

# ■ 2009年度 入試問題分析シート ■

大阪大学 文学部

前期日程

科目

国語(漢文)

試験時間	120分	満点(配点)	150点	出題数	現代文 2題	古文 1題	漢文 1題
総括				難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
				分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

昨年度は『説苑』敬慎篇から出題され、総字数151字・問題数5問であった。本年度は王禹偁『小畜集』から出題され、総字数268字・問題数5問であった。問題文の分量は昨年度より大幅に増加したが、問題数は変化がない。問二から問四までは二次試験としてやや難と言えよう。問五は阪大例年の返り点の問題が出題されている。

〈特記事項・トピックス〉

〈合格への学習対策〉

- ・ 頻出句形を十分マスターしておくこと。
- ・ 説明問題に対処するため読解力・表現力を身につけておくこと。

## 問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
Ⅳ	文集	王禹偁『小畜集』	女王蜂の生態を述べ、そこに人間社会の理想的な王の姿を重ね合わせている。	やや難

## 設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
Ⅳ	問一	記述	読み下し(すべて平仮名)。	標準
	問二	記述	現代語訳。	やや難
	問三	記述	意味の説明。	やや難
	問四	記述	意味の説明。	やや難
	問五	記述	返り点と送り仮名(読みが与えられている)。	標準

「本文のレベル」と「設問のレベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。